

## 船舶事故調査報告書

平成26年7月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成25年3月16日（土） 09時30分ごろ～18時30分ごろの間）
発生場所	不明（沖縄県糸満市糸満漁港～沖縄県那覇港の新港第一防波堤の消波ブロックの間）
事故調査の経過	<p>平成26年1月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。</p>
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	ヨット <sup>かいそう</sup> 海想、5トン未満 235-11391 沖縄、個人所有 7.19m (Lr) × 2.72m × 1.46m、FRP ディーゼル機関、2.2kW、昭和55年6月
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和60年12月20日 免許証交付日 平成23年7月25日 （平成28年7月24日まで有効）
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成25年3月16日09時30分ごろ、沖縄県宜野湾市所在のマリーナ<sup>まのわん</sup>へ向けて糸満漁港所在のマリーナを出発したが、18時30分ごろ、無人で機走状態により、那覇港新港第一防波堤の消波ブロックに右舷側が接触しているところを発見された。</p> <p>本船は、18時30分ごろ海上保安庁に通報され、来援した巡視艇により、那覇港<sup>みえぐすく</sup>三重城船だまりにえい航された。</p> <p>船長は、海上保安庁に捜索されたが、発見されなかった。</p> <p>海上保安庁は、3月17日の日没をもって専従捜索を打ち切った。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好、気温 約21℃ 海象：海上 平穏、波高 約1m、海面水温 約21℃

	<p>潮汐 高潮 09時26分ごろ（潮高約180cm） 低潮 15時54分ごろ（潮高約23cm）</p>
その他の事項	<p>船長は、健康であり、視力及び聴力共に問題なく、飲酒及び喫煙はしなかった。</p> <p>船長は、ヨットの経験が約30年あり、3か月に1回程度セーリングに出ていた。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、行方不明となった。</p> <p>本船は、09時30分ごろに糸満漁港所在のマリーナを出発した後、18時30分ごろ無人で機走状態により、那覇港新港第一防波堤の消波ブロックに接触しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が糸満市所在のマリーナを出発した後、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単独行動しないことが望ましい。</li> </ul>